

2枚ババ抜き

<改良の理由>

- ① 通常のババ抜きについては、誰かが上がった後のゲームの進め方のルールがあいまいになっている
- ② とにかく待ち時間が長い

<改良点>

- ① 札を取られたらすぐに札をとることができるので待ち時間が短い
- ② 札を1度に2枚とるので、作業が増えるので、待ついらつきが少ない
- ③ 札をとる人が常に一人と規定されるので、進行にゆらぎがない

<このゲームのルール> (太字が普通のババと違うところ)

(使用する札の数)

- ① ババを2枚とも入れ、札を全員に配ります。

(捨て札のルール)

- ② 配られた札で同じ数字の札があれば、捨てることができます。
ただし、**ババは2枚そろっても捨てることはできません。**

(上がりについて)

- ③ 手札が無くなれば、上りとなります。
試合開始前に札が無くなった人がいたら、無効試合とします。
また、1枚になったとき、左隣りの人から札を取られてなくなったときも上りとなります。

(取り札の権利について)

- ④ ゲームは、一番多く札を持ってる人が札を取る権利があります。
一人が決まらないときはじゃんけんで決めてください。

(ゲームの開始)

- ⑤ 札を取る権利のある人は、右隣のひとから**2枚の札**を取ります。
札を取られた人は、次に札を取る権利をもち直ちに札をとることができます。

(取り札のルールと例外)

- ⑥ **ただし、取る札の数は、右隣の人から2枚以下のときは1枚だけ取ります。**
一枚だけ取られたとしても、取るときは原則2枚になります。

(ゲームの中断を避けるルール)

- ⑦ **右隣の人の持ち札が1枚のときは、取られた人は上りとなります。**
この時、取る権利者がいなくなるので、取った人(権利者)はさらにその先の人から、札を1枚とることで、取る権利が消えないようにします。よって、その先の人もし上がりなら、さらにその先の人からも1枚取ることで、権利がなくならないようにします。

(上がりの順位と敗者)

- ⑧ このようにして、上がる順番が決まります。(これを得点にしても良い)
最後までババを持ってる人が負けとなります。
(不思議と一人の人にババが2枚集まります)